

アジア都市ジャーナリスト会議

# 環境との対話— 持続可能なアジアの 都市づくりを目指して

日時

平成19年12月10日(月)  
12:30開場／13:00開会／16:30閉会(予定)

会場

福岡国際会議場 5階「国際会議室」  
(福岡市博多区石城町2-1)

主催／西日本新聞社、国連人間居住計画(ハビタット)アジア太平洋事務所(福岡)  
後援／福岡自動車博覧会実行委員会

# アジア都市ジャーナリスト会議

## 環境との対話— 持続可能なアジアの都市づくりを目指して

### プログラム

13:00～ 開 演

あいさつ

基調講演

#### ポスト京都議定書の課題

—アジア域内が果たす環境への取り組み

あん・まくどなると 県立宮城大国際センター 准教授

13:30～ パネルディスカッション

コメンテーター

野田 順 康 ハビタットアジア太平洋事務所長

谷口 守 岡山大教授

あん・まくどなると 県立宮城大国際センター 准教授

■アジアのジャーナリスト

釜山日報(韓国)、大連日報、上海日報、広州日報(中国)、マティチョン(タイ)、サイゴン解放(ベトナム)、連合早報(シンガポール)、ニュー・ストレーツ・タイムズ(マレーシア)、フィリピン・デイリー・インクワイヤラー(フィリピン)、コンパス(インドネシア)

モデレーター

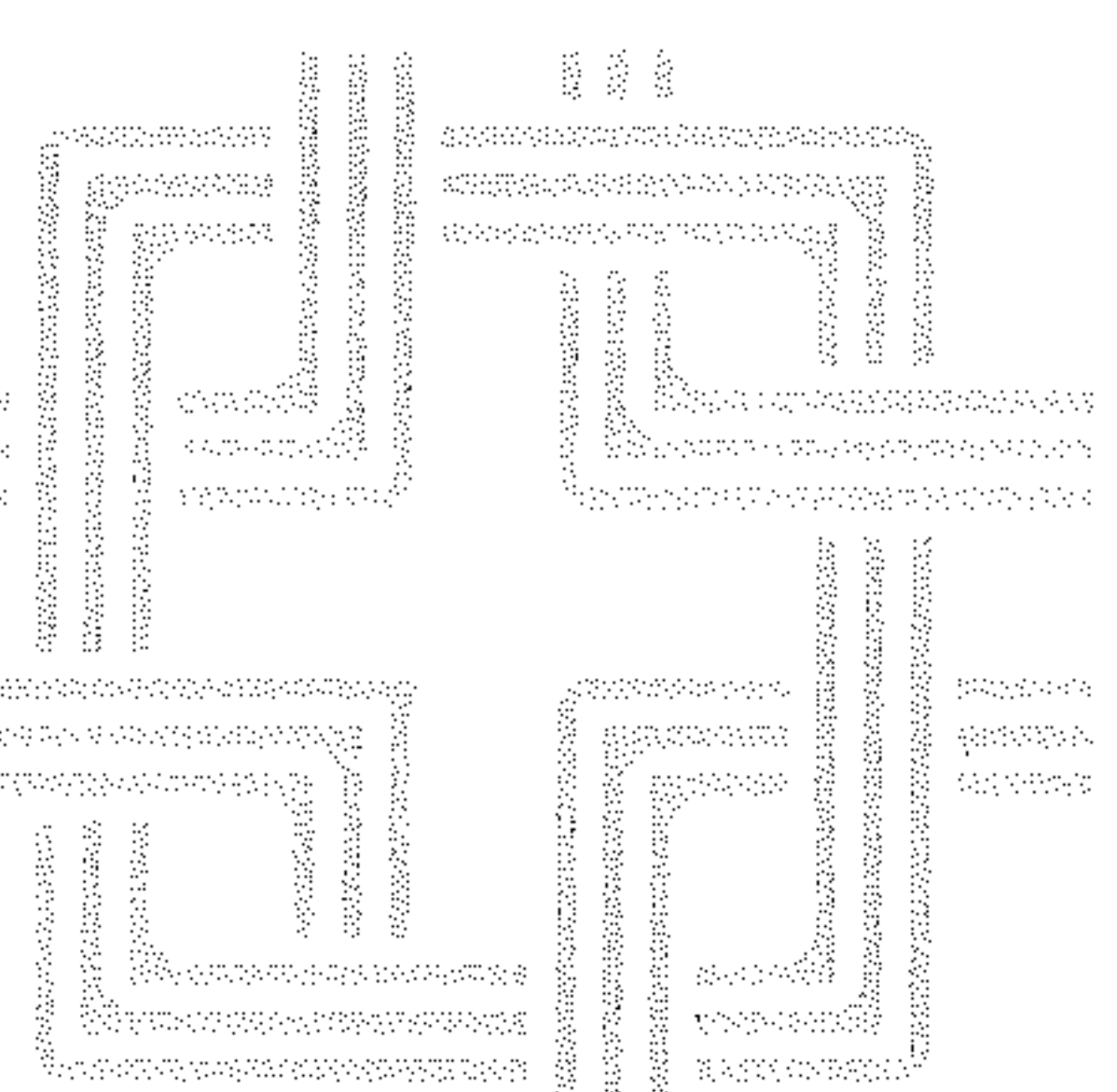
菊池 恵美 西日本新聞社編集局長

16:30 閉 会 (予定)

基調講演者

あん・まくどなると 県立宮城大国際センター准教授

カナダ出身。1965年生まれ。ブリティッシュ・コロンビア大東洋学部日本語科卒。現在、県立宮城大国際センター准教授。地球・人間環境フォーラム客員研究員として、「気候変動に関する政府間パネル(IPPC)」第3次、第4次評価報告書の作成、解析業務に携わる。熊本大に留学経験あり。「日本の農漁村とわたし」(清水弘文堂書房)など著書多数。宮城県大崎市を拠点に活動している。本人の意向で名前はひらがな表記にしている。



## ACJC参加新聞社

### 釜山日報 【韓国】

1946年創刊の韓国南部を代表する夕刊紙。発行部数約60万部。96年に西日本新聞と協力覚書を結び、研修記者を相互派遣中。

### 大連日報 【中国】

1945年創刊。夕刊紙・大連晩報、経済紙・新商報なども発行。2006年、西日本新聞と相互業務提携協定書に調印。

### 上海日報 【中国】

1999年に上海市政府によって創刊された、中国を代表する2大英字紙のひとつ。週6日発行、48ページのタブロイド判。

### 広州日報 【中国】

発行部数約180万部。64ページ前後とページ数が多いのが特徴で、広告収入は中国紙の中でもトップといわれる。

### マティチョン 【タイ】

タイの大手出版グループ・マティチョンが発行する硬派の日刊紙。

### サイゴン解放 【ベトナム】

サイゴン(現ホーチミン)解放とベトナム統一国家誕生後に最初に創刊されたベトナムの最有力日刊紙。

### ニュー・ストレーツ・タイムズ 【マレーシア】

創刊1845年。マレーシアで最も長い歴史を持ち、かつ最大の英語・マレー語の日刊紙。

### フィリピン・デイリー・インクワイヤラー 【フィリピン】

フィリピンで幅広い層に支持され、50%のシェアを占める最有力紙。

### 連合早報 【シンガポール】

シンガポール唯一の中国語朝刊紙として1983年誕生。シンガポール華僑社会で最も読まれ、信頼されている。

### コンパス 【インドネシア】

インドネシアの最有力紙。同紙を発行するのは巨大なグラメディアグループ。

(順不同)